福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年　1 月　29 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人　東京都福祉保健財団理事長　殿

〒　150-0012

所在地　東京都渋谷区広尾1-1-35マンション広尾台808

評価機関名　一般社団法人Riccolab.

認証評価機関番号　機構 17 ― 241

電話番号　03-6433-5280

代表者氏名　渡辺　真紀　印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号		評価者氏名	担当分野	修了者番号
	①	岡田賢宏	経営	H0201011
	②	後藤涼子	福祉	H1701021
	③	渡辺真紀	福祉	H0201062
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	にじのおうち保育園			
事業所連絡先	〒	156-0045		
	所在地	東京都世田谷区桜上水2丁目11番1号		
	TEL	03-5357-8722		
事業所代表者氏名	施設長　野呂田　日和			
契約日	2023 年　9 月　1 日			
利用者調査票配付日（実施日）	2023 年　10 月　6 日			
利用者調査結果報告日	2023 年　11 月　29 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年　10 月　2 日			
自己評価結果報告日	2023 年　11 月　29 日			
訪問調査日	2023 年　12 月　6 日			
評価合議日	2023 年　12 月　6 日			
コメント（利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入）	利用者調査は、オンライン回答システムによるものと紙ベースでのアンケート調査を実施した。職員自己評価においては、職員自己評価記入要領を配布するとともに、実施方法を録画した動画を使用して職員説明会を実施し、第三者評価及び職員自己評価への理解を深めた。オンライン回答システムによるものと紙ベースでの自己評価分析を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
- ◉ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ◯ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ◯ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年　1 月　29 日

事業者代表者氏名 野呂田　日和　印

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：認可保育所〕　令和5年度

《事業所名：にじのおうち保育園》

1	**理念・方針 （関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定）**
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定）
	1)ほっとした　つながりで　育ち合いましょう 2)子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を守る 3)一人一人の子どもに愛情を注ぎ、安心してくつろげる生活の場を提供する 4)保護者や地域社会と協力して、子どもたちの健やかな成長を支援する
2	**期待する職員像 （関連　カテゴリー5　職員と組織の能力向上）**
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・自分が子ども（弱者）であったらどんな大人が傍にいて欲しいか、どんな言葉掛け、どんな接し方をして欲しいかに思い馳せることがが出来る人であって欲しい ・自己都合や、感情にとらわれずに、子どもに寄り添い、子どもの気持ちを思い図り、子どもの語る言葉を大切にしながら、子どもの心や気持ちに想像力を働かせ応えていこうとする姿勢を身につけたいと思える人であって欲しい。 ・保護者の想いを理解しようとする姿勢を持ち、共感しながら、肯定的に一緒に考えていくことの大切に思える人であって欲しい欲しい
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	乳幼児期がいかに人間形成の上で大事な時期か考え「子ども一人ひとりに愛情を注ぐ」「子どもから学ぶ」という姿勢を持つこと。 保護者の方の願いを汲み、意見には傾聴の態度を持ち、信頼される存在になる。 地域に出る時は、保育園の代表という気持ちで立ち振る舞う。 組織の一員としてお互いに尊敬し合い、助け合う姿勢をもつよう心掛ける。

《事業所名: にじのおうち保育園》

調査対象	保育園を利用している世帯
調査方法	オンライン回答システムと紙ベース回答によるアンケート調査

利用者総数	45
利用者家族総数（世帯）	40
共通評価項目による調査対象者数	40
共通評価項目による調査の有効回答者数	23
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	57.5

利用者調査全体のコメント

利用者総数45名中、23名から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」などがあげられる。総合的な満足度では、14名が「大変満足」6名が「満足」の回答であった。日頃子供と過ごしていて疑問に思ったこともすぐに聞くことができるので助かります、毎日様々な発育につながる活動をしてもらっていてできることもどんどん増えておりいつも愛情を持って接していただき感謝しています、地域との関わりも多く姉妹園との年長交流の機会もあり色んな社会性を身につける事が出来るので有り難いと思います、などがあがっている。意見や要望としては、送り迎えの時の数分や連絡帳以外でももう少し保育内容を共有するようにして頂きたい、様々な事情があると思うが毎年先生方が何人も辞めて行くことに不安を感じる、などがあがっている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	22	1	0	0
22名が保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。出来るようになった事など様々な事を報告してくれて助かっています、何事にも愛情を持って接していただき心身の発達につながっていると思います、とても良くしてくれていると感じています、などがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	21	2	0	0
21名が保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。細かなところまでよく見てくれていて感心しています、先生が声をかけて興味を持てるようにかかわってくれている、園庭での遊びが多く設定されておりなんとも言えません、などがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	20	3	0	0
20名が提供される食事は、子どもの状況に配慮されていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。普通の子供より多めに食べているようで楽しく過ごしているみたいです、食事はいつも工夫されたもので旬なものが入っていておやつも月齢に合わせて手作りしてくださっていて家ではそこまでできないのでとても嬉しいです、などがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	22	1	0	0
22名が保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。色々なところに見学に行ってくれていることを園から帰ってきて楽しそうに話してくれるので充分確保されていると思います、他のクラスの子どもさんとも交流があって兄弟がいないのでありがたいです、野菜の観察・畑での活動は魅力的で関連園との交流もあるのがよい、などがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	18	1	0	4
18名が保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。いつも柔軟に対応していただきこちらが事前に取り決めた時間の変更の可能性がある際には延長保育の時間や申請の書類を渡してくださるなど忙しい中覚えて準備してくださったりと助かりました、との回答があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	20	2	1	0
20名が安全対策が十分取られていると思うと回答している。いつも必ず先生が付きっきりで見てくださっているので安心です、との回答があった。意見や要望としては、国や都の基準は満たしているとは思うが目が行き届いていないんだろうなと感じることがある、保育士の不注意による怪我があったため、などがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	20	2	0	1
20名が行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分と回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。今のところあまり行事がないので非該当にしました、との回答があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	22	0	1	0
22名が子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があると回答している。積極的に関わってくれていて助かっています、だいたいのことが初めてなので何でも相談できて心強いです、ちょっとした相談でもたくさんの提案をしてくれてとても参考になっている、送り迎え時はあまり話す時間は取れないが保護者会などでゆっくり相談できる時間を取ってくれている、などがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	23	0	0	0
回答者全員が施設内の清掃、整理整頓は行き届いていると回答している。いつも綺麗に掃除されていると思います、清掃担当の方が毎日隅々まで綺麗にしてくださっていて気持ちが良い、などがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	2	1	0
20名が職員の接遇・態度は適切と回答している。丁寧な対応だと思います、この時代子どもが不安に感じることがなければ個人の自由と思っています、挨拶を元気よくしてくださる先生がほとんどなのでそうでない方が少し気になります、すれ違ってもあまり挨拶をされない先生がいらっしゃるので少し気になります、子供への言葉の語尾？が適切でない印象の先生が1人いる、などがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	21	1	1	0
21名が病気やけがをした際の職員の対応は信頼できると回答している。的確に連絡を頂いたりしています、報告は適切に行われた経験があるが起きた事象に対する今後の対応についてはまだどちらとも言えない、熱を出しても隔離せず同じクラスの子達と遊ばせているため不安を感じる、などがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	19	2	0	2
19名が子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。自分の子どもがお友達をかんでしまうことがありましたがそうなった背景やこちらの気にしているところまでフォローいただき助かりました、年少以下の保育士の方は目の前で説明をした上で子供同士の仲直りを手助けするような形で謝りやすくできるよう誘導する様子を見かけ素晴らしい対応だと思います、などがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	22	1	0	0
22名が子どもの気持ちを尊重した対応がされていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。いつも大切にしながら対応していただいてます、いさかいなどで両者の子どもの気持ちになってくれていると思います、大切に対応してくださっている方とそうと感じない方がいるためなんとも言えません、などがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	19	1	2	1
19名が子どもと保護者のプライバシーは守られていると回答している。あまり守ってもらいたいほどの情報はありませんが信頼しています、クラスの中に他の保護者が入れるようになっている状態でトイレの扉を開けて用を足させており保育士以外の大人やまた他の子供が覗き込む様子を見て不安を感じます、プライバシー含めたコンプライアンスへの意識が低いと感じる、などがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	18	4	1	0
18名が保育内容に関する職員の説明はわかりやすいと回答している。いつもわかりやすく説明していただいてます、わかりやすいが聞かないと教えてくれない感じがある、保護者会で全体的な保育方針などは聞いているが子ども個人の個性や特長・得意不得意なども教えてもらえると嬉しい、などがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	19	1	0	3
19名が利用者の不満や要望は対応されていると回答している。「いいえ」の回答はみられなかった。不満に思ったことはないです、園長さんに直接お伝えすれば対応していただけます、現状不満は一度もないですが対応はしてくれると思います、などがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	16	4	2	1
16名が外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられていると回答している。保育園の掲示板にわかりやすく書いてありました、掲示はあるので理解しています、などがあがっている。				

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目
1	カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1（1-1）

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　7／7

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	◯非該当

評価項目2
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	◯非該当

評価項目3
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	◯非該当

カテゴリー1の講評

保育理念や方針を職員や保護者へ周知し理解が深まる中、日々の保育を展開している

保育理念「ほっとしたつながりで育ち合いましょう」、「誠実・信頼・成長（3S）」等を一枚にまとめた文書を事務室前の廊下に掲示する等で、職員はもとより保護者が日々の送り迎えの際に確認できるようにしている。また、職員へは年度当初の法人全体研修の機会等で周知したり、保護者に対しては入園時のしおりに明示する他、入園説明会で直接説明し、周知を図っている。実際に、園の方針に対する職員や保護者の理解が深まる中、日々の保育が展開されている。

今年8月に就任した園長は、個別面談で意向等を確認するとともに使命感を共有している

園長は今年の8月から就任しており、保育理念等に基づきながら、家庭的で子ども一人ひとりを大切にした保育となるように、適宜、リーダーシップを発揮している。就任後、職員と個別面談を行って、職員一人ひとりの意向等を丁寧に確認しつつ、使命感を共有するとともに、保護者に対しても、就任の挨拶を行い、行事開催時にも改めて園の方針等を伝えている。また、日々の送り迎えの場面で個別にコミュニケーションをとりながら、園長の考えを適宜伝え、理解が深まるように努めている。

職員会議の進行方法を工夫し、懸案事項について十分話し合う時間の確保が期待される

園運営上の重要な案件は法人内の園長会や経営会議で検討・決定したり、起案のしくみ等、一定の手続を通して組織的に決定しながら進めている。また、職員会議で決定経緯を伝えるようにしたり、懸案事項を議題に取り上げて職員の意見を確認しながら、協議・決定するようにしている。なお、職員会議では報告事項が多いこともあり、十分検討する時間が確保できていないことが課題となっている。今後は、話し合う時間を確保するために、会議の進行方法や開催時期等を工夫していくことが期待される。

	カテゴリー2
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1（2-1）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6／6

評価項目1
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2（2-2）

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◉あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

地域関係団体からの情報や法人内の各事業の現状等を踏まえ、園運営の参考にしている

園運営の参考となる情報を把握するために、保護者の意向は行事終了後のアンケートや連絡帳のやりとり等で把握している他、職員については人事制度上の職員面談の機会に要望も含めて確認している。また、地域のニーズについては、町会や区の保育ネット、要保護児童支援協議会、私立保育園の園長会等、外部からの情報を収集していることに加えて、法人として児童養護施設をはじめとする児童福祉関連の事業を運営する中で、それぞれの現状も確認しながら、円滑な園運営の参考にしている。

3園合同の委員会を通して事業環境把握に努め、将来ビジョンの明確化に取り組んでいる

中・長期計画の立案については、法人内の3園合同で未来構想委員会で検討を進めており、園長だけでなく職員もメンバーに加わる形で取り組んでいる。具体的には、区の人口や出生数の現状や虐待対応状況、他園の取り組み例等の情報を収集しながら、将来的に法人内で運営する園の数についてや、地域交流に向けた新たな取り組み、入園希望者へ園の情報をアピールする方法等、さまざまな領域について検討を重ねながら、将来ビジョンの明確化を目指している。

経営進捗状況表を毎月作成して運営状況を把握し、計画の着実な実行に努めている

単年度の事業計画は法人内の保育園事業計画として立案することが定着している。「子どもの権利、意見表明を具体化した保育」、「保護者や地域との連携・支援」、「職員の人材育成・専門性の向上を図る」、「保育園の中・長期計画の実施に向けた企画・検討案の具体化に向けた取り組み」の4つを基礎に、各園で事業計画を作成している。進捗管理方法は、毎月、経営進捗状況表を作成して確認する他、半期での総括等も行いながら、年度内の重要課題や目標の達成に向けて取り組んでいる。

	カテゴリー3		
3	経営における社会的責任		

サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2／2

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4

評価項目1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◉あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー3の講評
	法人内研修等を通して、虐待防止や子どもの権利擁護に関する各職員の意識を高めている 職員が遵守すべき事項について、服務規程を入職時に説明して理解を促したり、法人内研修で改めて虐待防止や権利擁護の認識を高める取り組みを継続的に進めている。また、チェックシートに基づき、全職員が自らの言動を振り返り、課題を抽出する機会を用意する他、日頃の保育場面で気になる状況が認められた場合に、個別面談を行って状況把握したり、適宜、指導を行っている。さらに、職員個人のみに起因するのではなく、複合的な状況が絡む中で発生することもあるため、会議等で周知しながら職員全体へ注意を喚起している。 **苦情解決委員を紹介するポスターを掲示する等で、保護者の理解促進を図っている** 苦情解決のしくみが整備されており、園内の苦情相談窓口等について入園時に保護者へ説明している。また、「令和5年度の苦情解決委員の皆様」というポスターを園の玄関先に掲示し、それぞれの委員の写真とメッセージを盛り込み紹介することで、親近感を抱きやすく工夫している。なお、今年度は第三者委員への直接的な苦情申出はない状況となっている。日頃、保護者から寄せられる意見や要望は、送り迎えの際や連絡帳のやりとりの中で把握され、必要に応じて、所定のフォーマットに基づき相談対応経緯等を記録に残しつつ、組織的な対応を進めている。 **園の専門性を地域の子育て家庭や学校教育等へ積極的に還元する取り組みを進めている** 地域に向けて園の専門性を積極的に還元するために、中学生の職場体験を受け入れたり、実習生についても、法人内の児童養護施設で実習を受けている学生が園を訪問する機会を持つ等、取り組んでいる。また、保育所体験や保育園見学の際には、離乳食を提供する機会を用意するとともに、子育ての相談に応じている他、地域の保育園とも情報を共有しながら、各園の課題を補う体制を整えつつ、できる限りの協力・連携に努めている。

	カテゴリー4		
4	リスクマネジメント		

サブカテゴリー1（4-1）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
◉あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2（4-2）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◉あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

様々なリスクを想定した予防・対策マニュアルを整備し、子どもの安全確保に努めている

感染症や保育場面での事故、災害対策等、様々なリスクを想定した予防・対策マニュアルを整備して園内に備えている。必要時にマニュアルの内容を再確認し、子どもの安全確保に向けて適切な行動がとれるように努めている一方で、BCP（事業継続計画）については、今回の職員自己評価結果からは十分な理解が進んでいない状況がうかがえる。改めてBCPの内容につて確認する機会を用意するとともに、大規模災害で被災したことを想定した訓練等も含めて、見直すことも念頭に置きながら実施し、各職員の理解を深めていくことが期待される。

ヒヤリハットと事故との区分をより明確にする取り組み等、事故予防対策を強化している

日々の保育場面で子どものケガや事故につながる恐れがある状況を職員が察知し、迅速に職員間で情報共有できるように、ヒヤリハット事例を入力するための専用タブレットを用いて、適宜、情報を蓄積している。今年度は、ヒヤリハットと事故との区分をより明確にする取り組みも進められており、職員の事故予防対策への意識も高まってきている。毎月の集計・分析結果についてもわかりやすくなり、子どものケガや事故の予防対策や要因分析等について、法人内3園全体で情報を共有し、検討しながら取り組んでいる。

園に蓄積される情報の管理方法を明確にして、外部への情報漏えい防止に取り組んでいる

園が入手している情報は事務室内で一括管理しており、保管や廃棄等の取り扱い方法を、関連する規程に基づき進めている。書類については、情報毎にファイリングして場所を決めて保管することで、職員が必要な時にスムーズに情報を入手できるようにしている。また、データ情報については、管理職専用のパソコンを用意したり、フォルダについても使用者を限定して管理している。入力業務を事務室のみで行ったり、散歩先で撮影した画像についてはその日のうちに消去する等で、子どもに関する情報の外部への漏えい防止を図っている。

	カテゴリー5
5	職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12／12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◉あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3／3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◉あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

お互いに助け合う職場風土が醸成され、働きやすい職場環境が構築されてきている

職員の採用は法人が中心となり取り組んでおり、就職フェア等へ参加する場合には、園を紹介するDVDを用意したり、新人職員が同行して説明する等の工夫により、就職希望者が入職後の状況等の理解が進みやすいように努めている。ただし、新規職員の計画的な採用が経営課題の一つとなっており、さらなる強化が必要と認識している。一方で、職員の定着に向けては、お互いに助け合う職場風土が醸成されていることや、クラスを離れて休憩時間を確保する取り組み等により、働きやすい職場環境が構築される中、離職防止につながっている。

職員の学びの機会をより計画的に進め、能力向上につなげていくことが期待される

キャリアパスのしくみについての職員の理解が進まない状況がみられる一方で、キャリアアップ研修の受講促進をはじめ、必要な研修へ職員の計画的な派遣を進めている他、法人内の研修や他園見学等、学びを深める機会も用意している。また、人事考課制度の中で用いられている自己申告書で、職員一人ひとりの能力開発の領域を把握し、年間を通して職員に適した学びの機会の提供に努めている。ただし、計画通りに進まない状況がうかがえるため、引き続き、計画的な育成に向けた調整を図っていくことが期待される。

職員が保育業務にやりがいを感じ、チームワークよく保育を進めている状況がうかがえる

各クラスの定員が10名未満の小規模な園であり、職員会議やミーティングノートの活用等で、職員一人ひとりがすべての子どもの姿を把握しながら、全体で保育を進めることを重視して取り組んでいる。その中で、他のクラスの保育を応援したり、業務負担が集中する場面で協力する職場風土が構築される中、今回の職員自己評価結果からも、保育業務にやりがいを感じている様子や、良好な人間関係が構築されている中で、アットホームな雰囲気で子どもの保育を展開できることに満足している様子がみられる等、チームとして保育を進めている状況がうかがえる。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1（7-1）

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を守る（人格を尊重した保育）を目標に掲げた。
実際に、虐待防止チェックシートの活用や、不適切な保育の事例を活用して、自分たちの保育や声掛けを見直す機会を設けた他、幼児を対象に看護師より「プライベートゾーン」についての話を聞く機会を設けた。
結果として、職員については無自覚に子どもの人権を犯していることに気づいたり、余裕がない時に声掛けが厳しくなっていること等を振り返る機会となった。また、幼児については、自らプライベートゾーンを隠すための着替え方が段々と身についたり、意識するようになった。
そこで今年度も、職員については「保育を語る」として、職員同士で子どもの困り感を話し合い、、さまざまな視点で子どもの姿を捉えて保育を進めることを目標に掲げ、人権を尊重した保育のさらなる向上を目指している。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園では、人権を尊重した保育を展開するために、虐待防止チェックシートに基づいて各職員が自らの言動を振り返る機会を設けたり、不適切な保育に関する事例を職員間で共有しながら、自分たちが同様の行動をしていないか等、確認する機会を用意している。振り返りを通して、気づかないうちに子どもの人権に配慮がない関わりをしていたことを認識したり、通常は人権に配慮している一方で、業務負担が増加する場面等では、子どもへの声かけが厳しくなる等の反省点が浮上し、それぞれ改善に向けて取り組みを進めている。また、看護師によるプライベートゾーンについて幼児に説明する機会を持ったことは、子ども自身が自覚して、プライベートゾーンを隠す行動が取れるようになる等、一定の成果がみられている。そこで今年度は、引き続き職員に対する取り組みを強化し、人格を尊重した保育を展開することを目標に掲げ、関連するテーマで内外研修で職員が学びを深めたり、職員間で意見交換しながら共通理解を深める取り組みの充実を目指している。

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

地域社会と協力して、子どもたちの健やかな成長を支援することを目標に設定した。
実際に、隣接している区の「土と農の交流館」との子どもを中心とした交流を行い、交流にまつわるドキュメンテーションの送付や、子ども達からのお礼状を手渡す等の取り組みを進めた。また、近隣住民からの意見や要望、苦情等があった場合には、傾聴しながら即対応する姿勢で取り組み、解決を目指した。
結果として、近隣住民との交流が進んだ他、地域住民の園に対する理解が深まった。
今年度も引き続き、地域住民との交流を継続するとともに、地域の子育て世帯を対象とした育児相談や家庭支援を積極的に進めていくことを目指している。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園は、地域における子育て教育拠点としての役割を担っているという自覚のもとで、地域住民の理解や連携があっての地域づくりであるため、地域交流の促進を目指して、園の隣にある、区の「土と農の交流館」を通して、地域住民と交流する機会の充実を図っており、ドキュメンテーションを作成して送付したり、子どもたちが交流の機会を得たことのお礼状を手渡す等、具体的に取り組んでいる。また、近隣住民から園に寄せられる意見や要望等に対しては、適宜、解決に向けて検討を進め、園に対する信頼を得ることができるように努めている。これらの取り組み等を通して、近隣住民の園に対する理解が進んでおり、近隣住民の畑で野菜を収穫する機会を得る等、保育活動への反映にもつながってきている。今年度も地域交流の機会を促進して園の活動等の理解を深める他、地域の子育て家庭への支援や近隣の公園へ散歩に出かけた際に出会う子育て中の親子にも声をかけ、相談しやすい関係作りに取り組んでいる。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点（○○○○）	
	評価	標準項目	
	◉あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	◉あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	◉あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	◉あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー1の講評

法人全体のホームページで、園の特色等をわかりやすく掲載している

法人全体のホームページの中で、法人理念「ほっとしたつながりで育つ合いましょう」を示し、にじのおうち保育園のページには、方針や園の特色、概要等を掲載している。園の特徴として法人の3つ目の園であること、定員50名の園として、家庭的で暖かな雰囲気を大切にしていることが掲載されている。他に畑に囲まれた地域特性を生かして、自然に触れ合う機会を多く持ち隣接している施設との世代間交流ができる保育園を目指していることが、掲載されている。アーカイブには法人3園の行事や取り組みを掲載して、園や姉妹園の雰囲気を伝えている。

地域子育て支援事業を広げて、地域の方が園を体験できる機会を増やしている

地域の方に幅広く保育園を知ってもらい活用してもらえるように、毎月「絵本の読み聞かせの会」を開催しており、今年度は更に「乳児むけリトミック」も開始している。園児への指導を担っているリトミックの講師に依頼して、地域親子向けのプログラムを、実施している。園の外の掲示板にポスターを掲示し、散歩の際に職員がチラシを持参して、地域の親子連れに配布する等して参加を呼び掛けている。当初は参加人数を10組としていたが、希望者が多いことから現在では20組に増やして、園内で親子で楽しみながら園を体験する機会を増やしている。

見学はできるだけ希望に応じ、その場で保育体験へ変更することも可能としている

見学は電話で受け付けており、できるだけ希望の日程で受け入れるようにしている。時間帯は10時半頃からを勧めて、子ども達の活動の様子を見てもらうようにしている。案内の際には園長や主任が対応して、法人として大切にしている理念・方針の他に、駅から離れているが延長保育の利用が柔軟にできる事や、立地を生かした自然体験等を説明している。子育て支援事業や保育体験ができることもお知らせし、その場での変更も可能にしている。これにより、見学者が保育体験へ変更して親子で保育室に入り、在園児と一緒に遊んで過ごすことも多い。

	サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	◯非該当
◉あり ◯なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	◯非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	◯非該当

サブカテゴリー2の講評

入園時は重要事項説明書や園のルールを丁寧に説明し、保護者から承諾書を得ている

入園説明会では重要事項説明書とともに、「入園に関する重要事項の確認」の書面を保護者へ渡し、項目ごとのチェックや署名を得ている。園では事前に重要事項説明書を配布の上、保護者によく読んでもらうようにして、入園説明会の中で園長から丁寧に説明を行っている。法人や園の理念や保育目標・方針から、保育内容、延長保育等の他に、保健衛生・健康管理では検診等の保健計画や感染症、区の病児病後児保育の案内も掲載して説明している。他にも災害時の避難先や苦情解決の相談先も説明して理解を得ている。

一人ひとりの子どもの事情や要望等を把握して、園での配慮や援助に繋げている

入園の際には一人ひとりの子どもの状況を把握するために、法人で書式を定めて保護者に記載してもらっている。児童票には保護者の就労状況や家族構成、健康記録には予防接種歴や体質、他にも年齢毎の「入園までの生活状況」の用紙で、家庭での生活面を詳細に保護者に記載してもらうことで、入園までの状況を把握できるようにしている。食物アレルギーや疾病、障害等がある場合には、必要に応じて栄養士や看護師も個別に面談を行い、園での配慮や援助の仕方を保護者に確認し、医師の診断書等の必要な書類を依頼して、園での配慮や援助に繋げている。

慣れ保育の実施と、保育の開始前の再度の見学や保育所体験を受け入れている

園では個別面接の際に、保護者の就労状況や家庭の事情等を確認しながら、入園初日からの慣れ保育について説明を行っている。そのうえで保護者と相談しながら、徐々に時間を延ばしていく慣れ保育を実施している。他にも入園内定後から保育の開始までには時間がある場合には、再度見学や保育所体験ができることも伝えている。慣れ保育が難しい方には、入園前に親子で保育所体験に参加することで、初日から希望の時間で保育を行う等、柔軟に対応している。慣れ保育中は保護者とコミュニケーションを密にして、子どもの様子を丁寧に伝え合っている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13／13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◉あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◉あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当

サブカテゴリー3の講評

全体的な計画の内容を踏まえて、養護と教育の領域を意識した計画を作成している

法人内の3園で、保育所保育指針に基づいた全体的な計画のフォーマットや基本的な内容を定め、そのうえで園独自の内容を盛り込んだ、「全体的な計画」を作成している。各年齢の発達の特徴とねらい・養護・教育・食育の項に分けて、教育には0歳児は3つの視点、1歳児以上には5つの領域を記載して計画されている。その内容を踏まえて各クラス毎に年間指導計画と月間指導計画には、養護と教育の項目を設けて作成している。その内容を週の活動計画に具体的に繋げて日々の保育を行うと共に、保護者へも掲示して取り組みのねらいと予定を知らせている。

保育の計画は月・期・年ごとに振り返りを行い、必要に応じて見直している

園では月・期・年毎に、振り返りを行い、必要に応じて見直して次の計画に反映させる等、PDCAサイクルを意識しながら取り組むようにしている。月末には月の計画の振り返りを行い、取り組めなかったり子どもの姿に反映されなかった内容については、翌月の計画の中で取り組むようにしている。更に4期に分けて作成されている年間指導計画を意識して、期毎の振り返りも行っている。振り返りは月のねらいに沿い子どもの具体的な姿を通して成長や発達を記載したり、期毎の振り返りでは項目毎に子どもの姿を振り返り、次の計画に繋げている。

職員間で様々な会議を通して、子どもや保護者の情報を共有し合っている

園では様々な会議を開催して、園内での保育内容の計画や振り返りの共有、子どもの様子や保護者に関する情報の共有を図っている。日々のミーティングでは、その日の受け入れ時の子どもや保護者の様子の共有、連絡事項の伝達、保育内容の確認等を行い、1ヵ月に1回開催している職員会議では、前月のカリキュラムの振り返りと子どもの様子等を伝え合っている。更に1階、2階毎のフロア会議を開催して、活動内容や園庭等で一緒に遊ぶ時の遊び方等を確認し合いながら、子どもの様子や発達にも触れる等、様々な会議を通して情報を共有し合っている。

	サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	◯非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	◯非該当

サブカテゴリー5の講評

個人情報の保護について法人として様々な規定を設けて、保護者にも説明している

法人では保育事業に関してどの情報を開示するか、又守秘すべき情報の範囲や内容等について、法人が定める「個人情報保護規定」及び「個人情報に関する規定」、「情報公開規定」に基づいて実施する定めている。また保護者や子どもの健康状態による関係機関への連絡等については、「保育園個人情報管理規定」を作成して実施している事を、「保育園のしおり」（重要事項説明書）に記載して、保護者へ説明している。写真等は保護者へ子どもの普段の姿を伝える為に撮影する事、保護者が行事等の写真をWEBへ掲載しないよう、注意も促している。

子ども一人ひとりのプライバシーに配慮した、環境づくりを工夫している

3，4，5歳児は室内で着替える際には、場所を決めて外に面しているカーテンを閉める等の配慮をしている。1，2歳児室ではトイレの側をオムツ交換と着替えの場所に決めて、カーテンを閉めたり衝立を設置する等して、外部の視線を遮り子ども同士も見えにくい工夫をしている。0歳児は1対1のオムツ交換や着替えを心掛け、外部から見えにくい場所にオムツ交換台を設置している。園庭でのプール活動やシャワーの際にはフェンスに目隠しを設置したり、保護者にポンチョ型のタオルを用意してもらう等、子どものプライバシーに配慮している。

研修や自己チェックシートを活用して、職員の意識の向上に取り組んでいる

法人全体で継続して子どもの人権の保護と虐待防止に取り組んでおり、法人内研修・法人外研修等、様々な研修を通して職員が学ぶ機会を設けている。更に昨年度から継続して「世田谷区保育の質のガイドライン」の、子どもの人権チェックシートを用いて、全職員が自己チェックを行っている。例えば子どもの権利では、「子どもが「いやだ」といった場面で何が嫌なのかを応答的に聞いていますか」等、具体的な保育の場面での対応を職員へ問いかける内容となっており、期毎に自己チェックを行うことで、職員の意識の向上に繋がるように取り組んでいる。

6	サブカテゴリー6		
	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	◯非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	◯非該当

サブカテゴリー6の講評

各種委員会を開催して、園内の安全に対する職員の意識の向上を図っている

法人では各種委員会活動を行っており、特に環境・防災・リスクマネジメントは、定期的に会議を開催して、園内の安全管理に努めている。環境委員は保育室の環境や園庭の整備について、2ヵ月に1回会議を開催して点検や取り組み内容を確認し合っている。防災委員は避難訓練や不審者訓練の計画の立案と実施、防災備蓄品の確認等を行っている。リスクマネジメント委員は、ヒヤリハットやアクシデントについて、職員からの情報をデータ一入力することで、グラフにまとめ、傾向と対策について職員へ問題提起を行い、園内の安全への意識を高めている。

保育園をめぐる制度や法令の変更に伴い、マニュアルの改訂を行っている

法人では保育園の運営に必要な各種マニュアルや手引書を作成して、各園に設置している。保育安全マニュアルや防災マニュル・食物アレルギー対応の手引き・虐待防止マニュアル等、その内容は制度や法令の変更に応じて見直しと改訂を行っている。改定内容は各園へ伝達されて、修正や差し替えを行うようにしている。更に保育園のしおり（重要事項説明書等）の内容の見直しを行い、制度や法令に照らし合わせて祖語の無いように注意している。また園内の安全確認等の各種チェック表も定めて、毎日、毎月等定期的にチェックを行うようにしている。

年度末の事業報告書を通して課題を明確にし、次年度の事業計画書を作成している

各クラスの年間指導得計画の年度末の振り返り、総括、行事等の反省等を踏まえて、園長が事業報告書を作成している。その内容は3園合同の事業報告書としてまとめられている。更にその内容を踏まえて、次年度の事業計画書を作成して、重点目標を設定して取り組んでいる。令和4年度の事業報告書には、近隣住民からの苦情解決に向けて、給食室の大がかりな工事を実施して解決したことや、園児の定員割れの状態への次年度への課題が記載されている。令和5年度の事業計画には、子どもの権利・意見表明を具体化した保育目標が掲げられている。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリー4		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36／36

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	◯非該当
◉あり ◯なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	◯非該当
◉あり ◯なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	◯非該当
◉あり ◯なし	6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	◯非該当

評価項目1の講評

一人ひとりの子どもの全体的な姿を把握したうえで、保育を行っている

入園時には「入園までの生活状況」の用紙を基に、保護者に成育歴を詳細に聞き取り、入園後は保育経過記録の用紙に、定期的に子どもの成長発達の過程を記録している。他に児童票には保護者の勤務先や家族構成も記載してもらい、健康記録では既往症や予防接種歴、体質等も記載してもらい、確認している。保護者や家庭の状況に変化がある場合には、変更届を提出してもらったり、個別に伺う等して児童票に記録している。更に日々の連絡帳や送迎時の保護者とのやりとりの中で子どもの様子を把握し、職員間で共有しながら保育を行っている。

日常的な異年齢の関わり合いを通して、子ども達が親しみを深めている

今年度4歳児の人数が少ないことから、4，5歳児の保育室は中央の仕切りを外して、日常的に異年齢で過ごしている。更にお昼ご飯には4，5歳児室に3歳児も参加して、一緒にご飯を食べる等、3，4，5歳児が日常的に一緒に過ごす中で、お互いに名前を呼び合い一緒に遊びながら親しみを深めている。朝夕の延長保育の時間帯や土曜日保育は全年齢の合同保育を行い、園庭遊びでは様々な年齢が一緒に出て遊ぶ機会も多い。特に散歩は職員間で相談しながら異年齢で一緒に出掛けることも多く、日常的に年齢を超えて親しみを深めている。

3園交流保育を定期的に開催して、就学に向けて大きな集団活動に慣れるようにしている

5歳児の定員が9名の園の為、就学に向けて大きな集団活動に慣れる為に、法人姉妹園3園との交流会を定期的に実施している。感染症の流行の為に昨年度までは不定期な取り組みだったが、今年度からは毎週交流保育を実施している。にじのおうち保育園・みんなのおうち保育園・ちいさなおうち保育園、総勢32名の、交流保育年間指導計画を作成して、公園での運動遊びや様々な施設見学、高尾山のへも出かけている。4月当初は集団の大きさに気後れした様子の子ども達も、回数を重ねるごとに慣れていき、就学に向けた大きな体験となっている。

2 評価項目2
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	◯非該当
◉あり ◯なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	◯非該当

評価項目2の講評

登園・降園時には、一人ひとりの子どもの様子を保護者と確認している

全園児の登校園の時刻の入力には、タッチパネルを使用している。更に登園時には時間の入力と共に、体温の入力もお願いしている。0.1.2歳児の子どもの受け入れの際には、連絡帳の内容を確認しながら、3.4.5歳児は視診を行いながら、保護者に子どもの健康状態を口頭でも確認している。いつもとは違う様子等の際には、その場で保護者と確認を行い、必要に応じて看護師等にも確認してもらようにしている。3.4.5歳児はノート型の自由記載の連絡帳を使用して、保護者からの連絡事項がある場合には、内容を確認して答えるようにしている。

基本的な生活習慣が身に付くよう、遊び環境を通して子ども達へ伝えている

園生活の中で、年齢に応じて看護師による手洗いやうがいの指導、栄養士による箸の持ち方や食事の姿勢の大切さを、子どもへ知らせている。更に年齢に応じて、遊びの中にも生活遊びを取り入れることで、生活習慣の大切さや自立へとつながるようにしている。1歳児の保育室にはままごとコーナーを設置して、チェーンやスプーン、簡単なボタンはめの玩具等を設置して、遊びながら指先の発達を促している。2歳児室や3歳児室のままごとコーナーには人形や洋服等も設置して、お世話遊びを楽しみながら、自分の洋服への興味や意欲にも繋がるようにしている。

3 評価項目3
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	◯非該当
◉あり ◯なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	◯非該当
◉あり ◯なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	◯非該当
◉あり ◯なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	◯非該当

評価項目3の講評

子どもが自主的に遊びこみ、自分らしさを発揮できる環境づくりに取り組んでいる

園では今年度の重点目標の一つに、「子ども一人ひとりが主体的に行動でき、その子らしさを発揮できる環境設定を心掛ける」を設定して取り組んでいる。12月の訪問時には、0歳児室には活発になってきた子ども達の発達を考慮して、段差のある台や梯子型のトンネル等を設置して、運動遊びに取り組めるようにしていた。ごっこ遊びの盛んな3歳児室にはままごとコーナーを充実させ、4，5歳児室には教材を充実させて、子ども達が好きな活動に取り組んでおり、各保育室に子どもの発達と興味関心に応じたコーナーや教材が設定されていることがうかがえた。

園ならではの、様々な感触遊びを子ども達が全身で楽しめるように工夫している

土の園庭やテラスを活用して、夏には水遊びや泥んこ、プール活動等、夏ならではの活動を年齢ごとに取り入れて、子ども達が全身で思い切り楽しめるよう工夫している。プール開始前に園庭のプールのふたを開けて、5歳児がスポンジ等を使用してプールの掃除を楽しみ、3，4，5歳児は大きなプールで泳いだり水しぶきを楽しんでいる。小さいクラスの子ども達はテラスにたらいを出して、泡遊び水遊び、絵の具を使った色水遊び等を楽しんでいる。他に絵の具と糊を混ぜて身体につけるボディペインティングを楽しむ等、園ならでは感触遊びを楽しんでいる。

豊かな周囲の自然環境に触れ、植物や小動物を通して季節の変化等を感じている

3歳児の子ども達は、秋には自分で作ったお散歩バックを持って散歩に出かけている。散歩道や様々な道路、公園で発見した木の実や石、葉っぱ等をバックに入れて、大切に持ち帰っている。隣接している区立の土と農の交流館には、日常的に全年齢が遊びに出かけ、季節の野菜の収穫を体験したり、四季の草花を見ながら芝生の広場で遊んでいる。更に毎年カブトムシの飼育が引き継がれており、今年も夏には数匹の幼虫が立派なカブトムシになっている。4，5歳児が毎日餌をあげたり水をあげながら、卵を産んで次へとつながるまでを観察している。

4 評価項目4
日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	◯非該当

評価項目4の講評

季節ならではの行事の由来や意味を、子ども達と一緒に楽しみながら知らせている

日本ならではの伝統行事に、子ども達と一緒に楽しく取り組みながら、由来や意味を知らせている。子どもの日や七夕の集い、お月見、新年子ども会、節分、ひなまつり等の際には、子ども達と相談しながら一緒に取り組んでいる。七夕の際には年齢ごとに笹飾りを作り飾り付けを楽しんだり、集いでは由来の話の後、職員の創意工夫でホールを暗くしてイルミネーションで天の川を表現し、子ども達が天の川渡りを楽しんだり星形クッキーを味わい、楽しんでいる。お月見では5歳児がお月見団子を作り、ススキや果物は買い物ごっこで楽しみながら飾り付けている。

5歳児の子ども達が忍者になり切って、友達と協力し合いやり遂げる体験を味わっている

園では「親子ふれあいデー」という、親子で運動遊びを楽しむ会を開催している。5歳児の子ども達が中心となり何をやりたいか、どんな運動遊びを楽しみたいか等を話し合いで決めて、練習に取り組んでいる。今年度は子ども達が好きな忍者をテーマに、全園児が「忍者修行」として取り組んでいる。忍者の格好や置くもの等にもこだわり、手裏剣を各家庭にも協力依頼をして作ってもらう等しながら、友達と協力し合い制作や練習に取り組んでいる。当日は忍者になり切って踊り、運動する姿に保護者から大きな拍手をもらい、やり遂げる体験となっている。

行事前後の子どもの姿を保護者へ伝え、理解と応援をお願いしている

園では毎年4月1日には、年間行事計画表を保護者へ配布して、保護者参加の日程を早めに知らせることで、保護者が予定しやすく参加できるようにしている。更に行事前後の子ども達の取り組みの様子を、ドキュメンテーションにしてクラス毎にシステムで送信したり、玄関に掲示する等して、保護者へ伝え理解と応援をお願いするようにしている。今年度の親子ふれあいデーの忍者の取り組みでは、終了後も園全体で忍者ごっこを楽しみ、4，5歳児が0歳児へダンスや動きを教えに出かけたり、一緒に楽しんでいる姿を保護者へ伝えている。

5 評価項目5
保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	◯非該当

評価項目5の講評

朝夕の合同保育を通して、異年齢で楽しく過ごせるよう配慮している

少人数園の良さとして、家庭的な環境の充実や保育を目指している。保育室の中には畳のスペースを設けて寝転べるようにしたり、夕方の捕食には、手作りのおにぎりや蒸しパン等を用意して、身体に優しい献立に配慮している。早番や遅番は全年齢が合同保育で過ごすことで、異年齢の交流が深まる時間にもなっている。子ども達がお互いに慣れ親んで名前を呼び合い、一緒にお絵描きやままごとを楽しんでいる。日中の遊びとは違う、特別感のある延長保育専用の玩具も用意して、子どもが少なくなる時間帯も楽しく過ごせるよう工夫している。

職員間の引きつぎを丁寧に行い、子ども達の安心安全に留意している

園では18時16分から20時15分までの、2時間延長保育を実施しており、子どもの人数やお迎えの時間に応じて、職員はシフト制勤務を行い複数体制を整えている。昼のミーティングには延長担当の職員が参加して、午前中の子どもの姿や健康状態、保育の情報共有を行い、更に夕方の保育を引き継ぐ際にも、口頭で担任から引継ぎを行うことで、保育内容を工夫したり保護者への連絡忘れの無いように努めている。夕方の延長保育の時間帯は、職員や子どもの少なくなる為、使用していない2階や他の保育室の戸締りチェックを行い、安心安全に留意している。

6 評価項目6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◉あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◉あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
◉あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しめる行事食を提供して、食への期待感を高めている

園内での栄養士による給食の調理提供を行っており、献立には旬の食材を使用し全て手作りの給食やおやつを提供している。更に行事の際には、その行事にちなんだ献立を提供して、子どもが食でも行事を感じれるようにしている。七夕の際には人参の細切りで天の川を表現した七夕寿司や七夕そうめん汁を提供し、夏祭りではパックに入れた焼きそば、クリスマスにはチキンやクリスマスツリーのサラダ等を提供して、雰囲気を盛り上げている。行事のない月にも、「お楽しみメニュー」としてハンバーガー等を提供して、子ども達の食への期待感を高めている。

地域での収穫体験や食材に触れる体験を広げて、子ども達の食への興味関心を深めている

園では隣接している「土と農の交流館」との継続した繋がりを大切にして、今年度も色々なクラスの子ども達が出かけて、野菜の栽培や収穫等体験を行い、子ども達が自然や食を学ぶ大切な機会となっている。更に近隣の農家とのつながりも継続して、じゃがいも掘りやさつま芋掘り、大根掘り、更にミカン狩りも体験する等、様々な野菜や果物の収穫体験を広げている。更に収穫したものを自分たちで調理して味わう体験も行ったり、給食で使用する食材の下準備のお手伝いも開始して、トウモロコシの皮むきをする等して、食への興味関心を深めている。

給食だよりを発行して、子どもの食に関する様々な情報を保護者へ提供している

園では毎月「給食だより」を発行して、子どもの発達や季節、行事等、食事に関する様々な情報を、保護者へ提供している。5月号には子どもの日にちなんで、ちまきと柏餅の由来や子どもの咀嚼の大切さ、遠足時のお弁当の工夫等が紹介されている。8月号には夏野菜を食べようと題して、キュウリやトマト等の栄養素、朝ご飯の大切さと手軽にできる朝ごはんを掲載して、熱中症予防にも繋がることを伝えている。他にも季節の食材を使用した漬物や蒸しパン、パウンドケーキ等の簡単レシピも掲載して、子どもの食の参考になる情報を保護者へ提供している。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◉あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

評価項目7の講評

看護師による子どもへの健康指導を通して、子どもの意識を高めている

園では毎年、看護師による子どもへの健康指導を行っている。歯磨き指導・手洗い指導・命の大切さ・プライベートゾーンの話等、繰り返し行うことで、子ども達が自分の健康や安全に関心が持てるようにしている。手洗い指導では、2歳児以上の子どもたちへ、手洗いの歌を取り入れながら、楽しく手の洗い方を指導し、終了後には手洗い場にポスターを掲示して、子どもたちが自分で確認しながら取り組めるようにしている。更に幼児クラスでは手洗いチェッカーとブラックライトを使用して、バイ菌を見える化する手法を取り入れて、子どもの意識を高めている。

毎月の避難訓練を通して、子どもの安全への意識を高めている

園では毎月、様々な地震や火災等を想定して、子どもと職員が安全に避難できるように訓練を重ねている。4月には図上で職員間で避難経路や準備物等の確認を行い、実際に火災の訓練を行い広域避難場所まで、子どもと一緒に避難を行っている。子ども達へ実際に避難する機会や終了後に、避難の方法等を丁寧に知らせ、5月の訓練の際には「お・か・し・も」の約束も知らせている。9月には法人3園合同の避難訓練を行い、法人への報告方法を確認したり、3園の5歳児合同で起震車・煙中訓練に参加して、揺れや煙を体験し安全への意識を高めている。

園内の衛生的な環境の整備や、安全な環境作りに取り組んでいる

看護師と保育士が協力しながら、園内の衛生的な環境の整備に取り組んでいる。各保育室では日々の清掃や定期的な玩具の消毒、食事の際のテーブルやいすの清掃、消毒等を丁寧に行い、子どもが衛生的な環境の中で生活ができるようにしてる。0歳児は入園初期の環境の変化による体調の変化に注意して、看護師が出来るだけ0歳児保育に関わり、子どもの観察を行っている。毎日看護師が全クラスを巡回して、子どもの健康面の把握と共に、室内の安全や衛生も確認している。他にもヒヤリハット記録も参考にして、園内の安全な環境の整備に取り組んでいる。

8 評価項目8
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	◯非該当
◉あり ◯なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	◯非該当
◉あり ◯なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	◯非該当
◉あり ◯なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	◯非該当

評価項目8の講評

個々の保護者の様々な事情に配慮して、支援や援助に努めている

入園前の個人面談の際には、区から認定されている標準時間、短時間を基に、保護者の就労状況と通勤時間を加味して一人ひとりの子どもの実際の保育時間を決定している。入園後には、保護者の転勤等による勤務形態の変更や就労状況、子育て状況の変化に応じて、保育時間の変更等の対応も行っている。更に出産前後の保護者の状況に関する相談にも応じて、子どもや保護者が無理なく保育園生活が送れるよう、送迎時間にも配慮し支援している。仕事の都合による急な延長の申し込みにも、直前の電話申し込みにも応じて、柔軟に対応している。

対面での懇談会や行事を再開して、保護者同士が楽しく交流できる機会を大切にしている

今年度から対面で、クラス毎の保護者会を再開している。3年ぶりの対面の保護者会に多くの保護者が参加して、今年度のクラス目標や現在の子ども達の集中している遊びや様子、友達との関わりの姿を動画で見てもらっている。保護者同士のフリートーキングの時間を設けて、園では何でも食べるが家では食べない、片付けないから出しっぱなしにしている等、イヤイヤ期の対応や面白いエピソード等、保護者同士が楽しく交流できる時間となっている。終了後には、久しぶりに他の保護者と顔を合わせて話せる機会があり嬉しかった、等の感想が聞かれている。

4，5歳児クラスの保育参加を通して、家庭での育児の参考となれるようにしている

今年度より4，5歳児クラスは保育参加を開始している。一日4組までにして子ども達と一緒に制作をしたり、散歩に出かけたり、日程によっては避難訓練にも参加して、給食の試食も行っている。その後に個人面談かグループ面談を、希望に応じて開催している。グループ面談を希望される方が多く、保護者同士でその日の子ども達の楽しんでいる様子を共有しあい、子育ての悩み等も共有し合う機会になっている。保護者が保育に参加することで、保育士の子どもへの関わり方や声掛けの姿を見てもらい、家庭での育児の参考となれるようにしている。

9 評価項目9
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり ◯なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	◯非該当
◉あり ◯なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	◯非該当

評価項目9の講評

地域資源を活用して、子ども達の多様な体験の場を確保している

園では隣接する施設や地域の農家との継続したつながりを大切にして、子ども達が自然体験や野菜の収穫体験を楽しめるようにしている。また地域の様々な公園を活用して、子ども達がお天気の良い日には散歩に出かけている。散歩の機会に0歳児が消防署に立ち寄り、見学をさせてもらったり消防車に触れさせて頂く等している。また法人内3園の5歳児交流保育の中で、消防署による「起震車・煙中訓練」を体験したり、清掃工場の見学にも出かけている。区のプラネタリウム見学では、星や空、宇宙への興味関心を広げる機会となっている。

ボランティアや職場体験等を受け入れ、子ども達が様々な人との交流を楽しんでいる

今年度より、卒園児の夏休み保育士体験を開催しており、多くの卒園児やその兄弟、友達等、小中学生が沢山来園して在園児と遊んで過ごしている。参加者にとっては懐かしい保育園で、職員や子どもとの再会を喜んだり、園児にとっては身近な大きいお兄さんやお姉さんの存在に、絵本を読んでもらったり遊んでもらいながら、成長への期待や憧れを持つ機会となっている。更に地域の中学校の職場体験も受け入れている。隣接する施設に集う高齢者や地域の方とも、施設内の花や野菜の収穫の仕方を教えてもらう等、交流する機会を楽しんでいる。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	1-1-1	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している
タイトル①	各職員が園に通うすべての子どもの保育に関わる方針を認識し、保育を展開している	
内容①	各クラスの定員が10名未満で構成される小規模園で、家庭的でアットホームな雰囲気が漂う保育を目指して取り組んでいる。各職員も、自分が配置されているクラスの子どもだけでなく、園に通っているすべての子どもの発達・成長をサポートする意識を持ちながら、ミーティングノートの活用等で園全体の保育状況を把握しつつ、必要に応じて、職員相互に補完し合う場面を持ちつつ、年間を通して職員が一丸となって保育を展開することができるように取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	ヒヤリハット報告書提出のしくみを修正する等で、安全性のさらなる向上に努めている	
内容②	日頃の保育場面で子どもの安全を確保するために、各職員が捉えた危険な状況をヒヤリハット報告書へ入力して共有する取り組みが定着している。このしくみを法人内3園合同で進めている中で、今年度、10月にヒヤリハットの項目を10数項目から5項目に厳選したり、ヒヤリハットと事故との区分を明確にして職員間で再確認する取り組み等で、さらに事故予防対策がとりやすいよう、充実・強化することにより、子どもの保育環境の安全性の向上に努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	園の専門性を生かして、楽しい地域交流や保育所体験を行っている	
内容③	園では地域交流として絵本の読み聞かせを、定期的に開催しているが、今年度は園で子ども達を指導している外部講師に依頼して、「地域リトミック」も開始している。園の掲示板にポスターを掲示したり、地域の児童館等にチラシを置き、散歩の際に出会う親子連れにも職員がチラシを渡して誘っている。10名の定数での楽しい内容に、希望者が多く20組に増やして開催している。更に今年度は保育所体験も再開して、妊婦については0歳児クラスで子どもの様子を見学したり、地域の親子は同じ年齢のクラスに入り在園児と一緒に園庭等で楽しく遊んでいる。	

《事業所名：にじのおうち保育園》

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域の農園との継続的な交流や、世代間交流、専門性を生かした地域子育て支援事業等を通して、子ども達の体験や交流の機会を広げている
	内容	園では地域の農園とのつながりを徐々に広げて、今年度は大根掘りやミカン狩り、ジャガイモ掘り、サツマイモ掘りを、子ども達が収穫体験をしている。無農薬栽培を行っていることで雑草や草が多く、収穫の際に出てくる様々な虫にも、子ども達が夢中になっている。更に今年度は自分たちで収穫したさつま芋で、クッキングも行い、収穫から食べるまでを体験して味わっている。隣接する施設に集う高齢者や地域の方と子ども達が交流したり、地域リトミックや保育所体験を開始して、多くの地域の親子が来園する等、子ども達の交流の機会も広げている。
2	タイトル	より良い保育への意欲を高く持ち、職員相互の良好な人間関係が構築される中で、子ども一人ひとりに適した保育を目指して取り組んでいる
	内容	各クラスの定員が10名未満と小規模な園であり、家庭的な環境や雰囲気の中でゆったりとした保育を展開することについて、各職員の認識を共有しつつ、保育場面では子ども一人ひとりを尊重し、クラスを越えて職員全体で子どもの様子を見守りながら保育を進めている。職員の得意分野を活かすとともに、苦手な分野や業務が集中する場面では、お互いに助け合う職場風土が醸成されており、それぞれの職員がモチベーションを高く持ち、良好な人間関係が構築された中で、子ども一人ひとりに適したより良い保育を目指して取り組んでいる。
3	タイトル	一人ひとりの子どもの個性や自主性を大切にしながら、子ども達が様々な表現活動を楽しんでいる
	内容	園では季節や子ども達の興味関心等により、様々な表現活動に取り組んでいる。5歳児がプラネタリウム見学で感激した星空を再現したいと始めた宇宙の制作には、ロケットや月、様々な星が貼り付けられている。夏休みに水族館へ出かけた子どもの声から開始した水族館作りは、図鑑を参考にしながら詳細に魚を表現した作品を完成させている。階段の壁には、個性豊かな大小様々な形の紫色のさつま芋の絵が飾られ、2歳児室の前には、自然の葉っぱの貼り方や枚数、顔の描き方の違い等、一人ひとりの子どもの個性が溢れている作品が飾られている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員会議の進め方や実施時期等を工夫し、職員間で十分意見交換する機会を確保していくことが望まれる
	内容	子どもへの保育に必要な情報を園全体で共有するために、ミーティングノートを導入する等の取り組みが進められている他、毎月の職員会議でも各クラスの状況を報告し合い、相互に確認している。一方で、職員会議では報告事項が中心となり、園の課題等について十分話し合う時間がとれないことが課題となっている。今後は、会議の進め方や開催時期等を工夫することで、年間を通してじっくりと職員間で意見交換したり、検討することができるように整えていくことが望まれる。
2	タイトル	子どものプライバシーを尊重した環境の更なる工夫や指導等の充実を図ることで、子どもの自己肯定感に繋げる取り組みが期待される
	内容	園では子どものプライバシーに配慮して、着脱の際には0歳児から上衣を脱いだら上衣を着てから下着を脱ぐ等、全裸にならない援助や指導を心掛けている。更に着脱の際には、カーテンで外部の目を遮る等も心掛けている。オムツ交換は場所を定め、できるだけトイレの中で行うようにしているが、1，2歳児のトイレには仕切り等はなく、更に子どもが使用する時間帯が重なることから、開放的になってしまうことも多い。園として更なる環境の改善や工夫、子どもへの指導等の充実を図ることで、子ども自身の自己肯定感に繋げる取り組みにも期待される。
3	タイトル	関係機関や関係団体等を経由して把握した事柄を、職員全体で情報共有するしくみを確立していくことが望まれる
	内容	園では、主に子どもへの保育に関する情報を中心に職員全体で共有している一方で、地域の福祉ニーズや保育業界の動向、今後の園の姿等に関する情報等、関係機関や関係団体等を経由して把握した事柄が職員全体に十分伝わっていない状況がうかがえる。今後は、それらの情報を職員へ伝える方法の一つとして、例えば、ITシステムを活用して関連する資料や情報を入手できるようにする等、業務負担が生じない形で整備を進めて共有することにより、各職員の園運営への参画意識をさらに高めていくことが望まれる。